

教育委員会の点検・評価結果報告書（令和4年度 自己評価）に対する知見（答申案）の修正一覧

第2回の審議会での審議を踏まえ、次の点を修正しました。

No.	頁	修正前	修正後
1	P.1 13行目 基本方針1 政策1	（生徒が積極的に参画している事例等）	（ <u>児童・生徒が積極的に参画している事例等</u> ）
2	P.4 11行目 基本方針2 政策3	現役世代や、体調不良や障がいがある方等で物理的に参加が困難であった利用者層を増やすためにもICTの活用は大いに意義があり、 <u>令和2（2020）年度以降の3年間に質の高いオンライン講座が企画・実施された実績もあります。オンライン講座の参加者数や動画配信の再生回数は減少傾向にあるため、Wi-Fi環境の整備のいっそうの周知とともに、社会教育委員の会議や社会教育主事会等による事業の検証と検証結果の十分な反映を期待しています。</u>	現役世代や、体調不良や障がいがある方等で物理的に参加が困難であった利用者層を増やすためにもICTの活用は大いに意義があり、 <u>実際に茅ヶ崎市では、令和2（2020）年度以降の3年間に質の高いオンライン講座が企画・実施された実績があります。オンライン講座の参加者数や動画配信の再生回数は減少傾向にあります。Wi-Fi環境の整備をいっそう周知するとともに、最新のICT技術の動向を踏まえて講座の内容・方法の見直しと改善を行っていただきたいです。また、社会教育委員の会議や社会教育主事会等で、よりよい事業の検証と、検証結果の反映を図っていただくことを期待しています。</u>
3	P.5 3行目 基本方針2 政策3	また、新たに公民館でICT環境を利用した児童・生徒対象の講座の企画が検討されることは、あらゆる児童・生徒のICTスキル及びメディア・リテラシーの獲得の面でも、来館の時間的余裕や交通費等費用の捻出が困難、または心情的な理由で来館や事業参加が困難な	また、新たに公民館でICT環境を利用した児童・生徒対象の講座の企画が検討されることは、あらゆる児童・生徒のICTスキル及びメディア・リテラシーの獲得の面でも、来館の時間的余裕や交通費等費用の捻出が困難、または心情的な理由で来館や事業参加が困難な

		<p>児童・生徒の学習ニーズの充足のためにも意義があり、ぜひ進めていただきたいです。</p> <p>「取り組み3 多様な主体と連携した学習機会の提供」についても地域の特性を生かした、さまざまな世代を対象とした多彩な事業の企画・実施が大いに評価されます。</p>	<p>児童・生徒の学習ニーズの充足のためにも意義があり、ぜひ進めていただきたいです。</p> <p><u>重点施策とは異なりますが、読書を体験する環境の充実とともに、家庭教育・幼児期の教育を支え合う環境の醸成を目的に保健所と図書館が連携して実施し、ボランティアが読み聞かせを行うブックスタート事業に対し、審議会で議論が交わされました。同事業はコロナ禍前の実施率の値に回復しつつありますが、親子が絵本に触れる貴重な機会であることを鑑みて、さらなる実施率の向上のために配布時期等を再検討する必要があります。また、青少年の居場所の創出のための取り組みである小学校ふれあいプラザの運営については、児童の直接体験の場を保障するための手がかかりとして、実施回数の平均や利用者数の総計に限られない現状把握が求められます。いずれにしても、幼少期に始まる教育環境を充実するための施策は、不断の見直しが必要です。</u></p> <p>「取り組み3 多様な主体と連携した学習機会の提供」については、地域の特性を生かした、さまざまな世代を対象とした多彩な事業の企画・実施が大いに評価されます。</p>
4	P.10 4・10行目 基本方針3 政策6	<u>安心・安全</u>	<u>安全・安心</u>
5	P.10 22行目 基本方針3 政策7	より多くの生徒の意見が	より多くの生徒や <u>保護者</u> の意見が